

公表: 令和5年3月30日

事業所名 重症児デイサービスひろがり2くみ(児童発達支援)

討議年月日: 令和5年3月25日

		チェック項目	はい	いいえ	その他	工夫している点、課題や改善すべき点など	改善内容・改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			児童の成長に伴い、また、コロナ禍でスペースがやや狭い時がある。	部屋の使い方を工夫して、より安全に過ごせるようにしていきます。	
	2	職員の配置数は適切であるか	6			安全安心な支援のためにも、マンツーマン以上の人員配置を行っています。		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6			車いす用のスロープは設置しており、段差のないバリアフリーにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6					
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1			業務改善に関して、パート職員も含めて共通理解と一層の向上のため、努力を続けていきます。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1			今回のアンケートを含め、日ごろから保護者の意向を把握するように努め、さらに改善に取り組んでいきます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	1	ホームページ等で公開しています。		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			3	3	第三者による外部評価は現在行われていません。	第三者による外部評価を検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				今年度は、研修用動画を60本以上製作し、職員研修に役立てるだけでなく、全国にも無料配信しています。月1回の職員研修会では、幅広い内容を研修する機会としています。	コロナ禍でできなかった対面の研修会を、少しずつでも行えたらと考えています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		2		ケース会による情報の集約と検討を経て、個別支援計画を作成しています。	さらに、子どもと保護者のニーズや課題をうけとめていくように努力していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	3		食べる力を育てることを、事業所として特に力を入れていることから、食事に関して評価表を用いて必要な支援を実施しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3		3		ひろがり独自の個別支援計画を工夫して作っています。必要な項目を精選して具体的な内容を記入し、それを実践しています。	保護者の話に真摯に耳を傾けることが大きな家族支援と思い取り組んでいます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6				利用児の状況に合わせて課題を設定しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	3		ケース会で話し合い、プログラムを検討しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		3		保育士を中心に、季節に合わせた活動プログラムを立てています。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4		2		個別活動と集団活動の両方を取り入れられるようにしています。		

17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	朝、必ず打ち合わせをしています。ラインやメールなどで、連絡し、調整・相談して確認しています。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		毎日の打ち合わせ以外に支援会議を行い情報の密な共有に努めています。また、個別の重要情報共有ノートを作り、保護者からの連絡や注意点、共有が必要な情報を記すようにしています。送迎後事務作業時に打ち合わせをしています。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	お子さんの活躍ぶりや良い表情などは、映像に残し、帰りの送迎時などに見せてお話しするなど、個人情報に注意しながら行い、記録としても活用する方法も少しずつ試みています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1	2 面談して、現在のアセスメントを行い、モニタリングを行うようにしています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			必要に応じてこちらからも連絡し、子育て支援を充実させるようにしています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6			積極的に、学校職員、医療機関等と連携し、直接出向いて、または電話で話すようにしています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5		1	月に1~4回、嘱託歯科医、嘱託小児科医がデイに来て、相談しています。いつでも電話、メールでデイのお子様の健康や状態などについて相談できる体制になっています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1	3	必要な情報共有を行ってきています。	さらに、情報共有を深めていきたいと思えます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1	3	港、名古屋特別支援学校へは、連絡をすぐに取れる関係です。支援内容について情報交換したり、相談したりしています。支援学校の先生が、長期休みなどを活用して、研修に来たり、ボランティアに来たりしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	3	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の職員の方も、ひろがり作成の動画で学んでいます。そこで相互に学びあっています。また、ひろがりで行う実習も受け入れているため、そこで研修していく方も多いです。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	4	今のところそうした機会は少ないです。	そうした機会を作り、地域との連携を図りたいと思えます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		3	3	事業所から求められた場合実施しています。コロナ感染予防のためできていません。	余裕ができれば、参加したいです。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		2	きめ細かな情報共有が必要です。個別の重要情報共有ノートを作り、保護者からの連絡や注意点、共有が必要なことをみんなで記すようにし、担当者はそれに目を通すようにしています。	共通理解が一層持てるように、さらに努力していきます。
保護	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	1	4	保護者の話に真摯に耳を傾けることが大きな家族支援と思い取り組んでいます。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	2		契約時、個別懇談時に説明するとともに、保護者説明会を開催し、説明しています。現在、コロナ禍で説明会はできません。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4		2		計画書を示しながら支援について話し、同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		2		特に、食べること、ふれあうこと、楽しむことに関してのアドバイスには、今後とも力を入れていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	2	保護者会を行いたいのですが、コロナ禍のため延期してきました。	コロナの状況をみながら、保護者との懇談会、説明会などを開催したいと思えます。

保護者への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	児童発達支援管理責任者を中心に、専門職の小児科医、歯科医、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、調理師、元特別支援学校教師、元療育センター保育士、元重症児のヘルパーなどが内容により対応しています。関係する大学教授、関係機関にも相談できる体制があります。	苦情に対しては、真摯に耳を傾けて対応していきます。根拠のない風評被害や、誹謗中傷にあたるものについては、それなりの対応を考えていきます。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	2	利用希望紙や利用予定表とともに、毎月の活動や行事予定、諸連絡などをお便りしています。HPやブログでは、活動の様子を写真や映像とともにのせています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	1		個人情報を外に出さないよう常に注意を払っています。写真・映像等をHP等で利用するときは、保護者の確認を確実に取っています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		2	言葉で話すのが難しい重症児ばかりなので、ふれあいや丁寧な食事支援などで五感を繊細にはたらかせ、きめこまやかなやり取りするをようになっています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3	特にそうした機会は設けていませんが、見学等の希望があれば応じることができます。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1	1	緊急時対応マニュアル作成していますが、感染症対応マニュアルを作成中です。職員と保護者への周知を一層図るようになっています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		定期的に必要な訓練を実施し、研修に参加しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6			お薬手帳のコピーをもらい、発作などについては、主治医の意見書をか必ずもらうようにしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			保護者アンケートで食事の状況やアレルギーについて確認し、必要に応じて医師の指示書をもらって対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハット、事故報告の研修を繰り返し行い、報告書を積極的に出してもらっています。それらは月1回の職員研修でまとめて話し合いを行っています。毎日の打ち合わせで報告し、ノートに記入して職員全員が必ず読みます。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1	2	装具や拘束帯の使用など、虐待と受け取られかねないこと等に関して研修しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	1	3	保護者の希望による装具等の利用に関して、虐待と誤解されないことがないよう配慮と検討を重ねながら実施しており、支援計画にも記載しています。	